

「情報技術基礎」シラバス

沖縄県立那覇工業高等学校

教科名	対象学科	学年	科目名	単位数	学期	(必須)・選択
工業	機械科	1年	情報技術基礎	2	全	
使用教科書		情報技術基礎(実教出版)新訂版		補助教材	パソコン利用技術検定3級	

科目の目標

- 社会における情報化の進展と情報の意義や役割を理解すること。
- 情報技術に関する基礎的な知識と技術を習得する。
(OSの基本操作や操作の意味を理解し、各種アプリケーションソフトやデータファイルの活用技術を身につける)
- 情報および情報手段を活用する能力と態度を育てること。
- パソコン利用技術検定3級取得を目指し、学識、実技能力を身につける。

学習の方法

- 年度初めに現代社会におけるコンピュータの重要性及び必要性について説明します。
(パソコン利用技術検定3級の受験に関し、今後の資格取得の足がかりとして目標を設定する。)
- 毎時間の授業では、初めに学習のねらいを示しますので、教科書(補助教材)を参考に積極的に学習します。
- 授業は、ワープロソフト、表計算ソフト、プレゼンソフトの実技を実施してパソコン利用技術の徹底を図ります。
- 具体的な操作例をプロジェクターに映し出してステップ毎に説明し、理解の充実を図ります。
- 板書はワークシートに記載させ、検定試験の問題を解答、解説する授業を行います。

評価の方法

- 下記の4つの観点により、学習内容のまとめ(定期考査まで)ごとに評価を行い、学年末に5段階の評定で総括します。

評価の観点	内 容	評価方法
①関心・意欲・態度	情報や情報社会に関心を持ち、身のまわりの問題を解決するために進んで情報や情報技術を活用し、情報社会に主体的に対応しようとする。	学習の準備 学習の状況
②思考・判断	情報活用方法を工夫したり、改善したりするとともに、情報モラルを踏まえた適切な判断をする。	ノート ワークシート 課題
③技能・表現	各種OS(ワープロソフト、表計算ソフト、プレゼンソフト等)を用いて情報を表現できる技法が身に付いたか。	ノート ワークシート 課題
④知識・理解	情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識を身につけるとともに現代社会における情報の意義や役割を理解している。	定期考査

その他

- 随時、学習のサポートを行いますので、理解の難しいところ、つまづいているところは、早めに解決しましょう。

授業計画（どのような内容を、どのように学ぶのか）

学期	月	時数	単元名	学 習 内 容	学習のねらい	学習活動【評価方法】
一 学 期	4	8	第1章 現代社会 とコンピ ュータ	<ul style="list-style-type: none"> • コンピュータの特徴、ハードウェアとソフトウェア、情報化社会の進展とモラル 	<ul style="list-style-type: none"> • コンピュータの基本構成や実社会での利用状況、必要性、安全性、モラルについて理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> • コンピュータとは何かを学習し、実際にアプリケーションソフトウェアを使用して基本的な操作方法を学ぶ。 【評価方法】 学習態度 ノート ワークシート 課題 定期考査 を総括して評価する。
	5	8	第2章 コンピ ュータの基 本操作	<ul style="list-style-type: none"> • 基本的な操作、コンピュータの使用と健康 	<ul style="list-style-type: none"> • コンピュータの基本的な操作方法を学習し、コンピュータを使用する上での健康上の注意点を理解させる。 	
	8	8	第3章 ソフトウ ェア	<ul style="list-style-type: none"> • ソフトウェアの基礎、プログラムに必要な、ソフトウェア、アプリケーションソフトウェア 	<ul style="list-style-type: none"> • ソフトウェアの基礎であるオペレーティングシステムと市販されている代表的なアプリケーションソフトウェアの基本的な利用方法などについて理解させる。 	
	1					
二 学 期	9	8	第7章 ハードウ ェア	<ul style="list-style-type: none"> • データの表し方、論理回路の基礎、処理装置の構成と動作、周辺装置 	<ul style="list-style-type: none"> • コンピュータ本体や周辺装置のしくみや動作について理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> • コンピュータのしくみについて学習し、データ通信システムなどの概要について学習する。さらに、パソコン利用技術検定の実技を学習する。 【評価方法】 学習態度 ノート ワークシート 課題 定期考査 を総括して評価する。
	10	8	データ通 信・マルチ メディア ・コンピ ュータ制 御	<ul style="list-style-type: none"> • データ通信とネットワーク、マルチメディアの活用、コンピュータ制御 	<ul style="list-style-type: none"> • データ通信システムの構成、インターネットの概要、マルチメディアシステムの概要、コンピュータ制御システムの概要について理解させる。 	
	11	10	パソコン 利用技術 検定対策	<ul style="list-style-type: none"> • ワープロの基礎、OSの基礎、パソコンの基礎、周辺機器、実技練習 	<ul style="list-style-type: none"> • パソコンを扱う上での基本的な知識を学び、実際にワープロソフトを活用しての文章作成方法を理解する。 	
	12					
三 学 期	1	10	第4・5章 BASICに よるプロ グラミン グ	<ul style="list-style-type: none"> • プログラム言語、プログラムの作り方、四則計算、文字データの取扱い、分岐処理、繰返し処理 	<ul style="list-style-type: none"> • 初心者向きのプログラミング言語であるBASICを用いて、簡単なプログラミングを学習し、流れ図の書き方、数値・文字などの定数と変数の扱い方や、各種の関数の扱い方を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> • BASIC や C 言語を用いて簡単なプログラムの作成を学習する。 【評価方法】 学習態度 ノート ワークシート 課題 定期考査 を総括して評価する。
	2	10	第6章 Cによる プログラ ミング	<ul style="list-style-type: none"> • Cの特徴、四則計算、分岐処理、繰返し処理、配列、関数 	<ul style="list-style-type: none"> • Cの基本的なプログラミング手法について学習し、実際に簡単なプログラムを作成できる能力を身につけさせる。 	
	3					